

滋賀県の地震

令和 6 年(2024 年)8 月

目 次

1 滋賀県の地震活動

(1)震央分布図	-----	1
(2)概況	-----	1
(3)断面図	-----	2
(4)滋賀県で震度1以上を観測した地震の表	-----	3
(5)滋賀県で震度1以上を観測した地震の震度分布図	-----	4

2 琵琶湖西岸断層帯周辺の地震活動

(1)震央分布図・時空間分布図・地震活動経過図	-----	6
(2)概況	-----	6

3 地震一口メモ

日向灘の地震と南海トラフ地震臨時情報	-----	7
--------------------	-------	---

「滋賀県の地震」は彦根地方気象台における地震業務の一環として、県下の皆様に県内の地震活動状況をお知らせするとともに、防災知識の普及に努め、皆様のお役に立てることを目的とし、毎月刊行しています。

「滋賀県の地震」は上記目次で構成し、適宜地震活動把握のための解説資料や用語解説等を掲載します。

本資料に関する問い合わせは「彦根地方気象台（電話 0749-22-6142）」にお願いします。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

滋賀県内の震度情報発表地点は彦根地方気象台ホームページに掲載しています。

<https://www.data.jma.go.jp/hikone/seismo/seismo.html>

本資料の震源要素及び震度データは、後日再調査の上修正されることがあります。

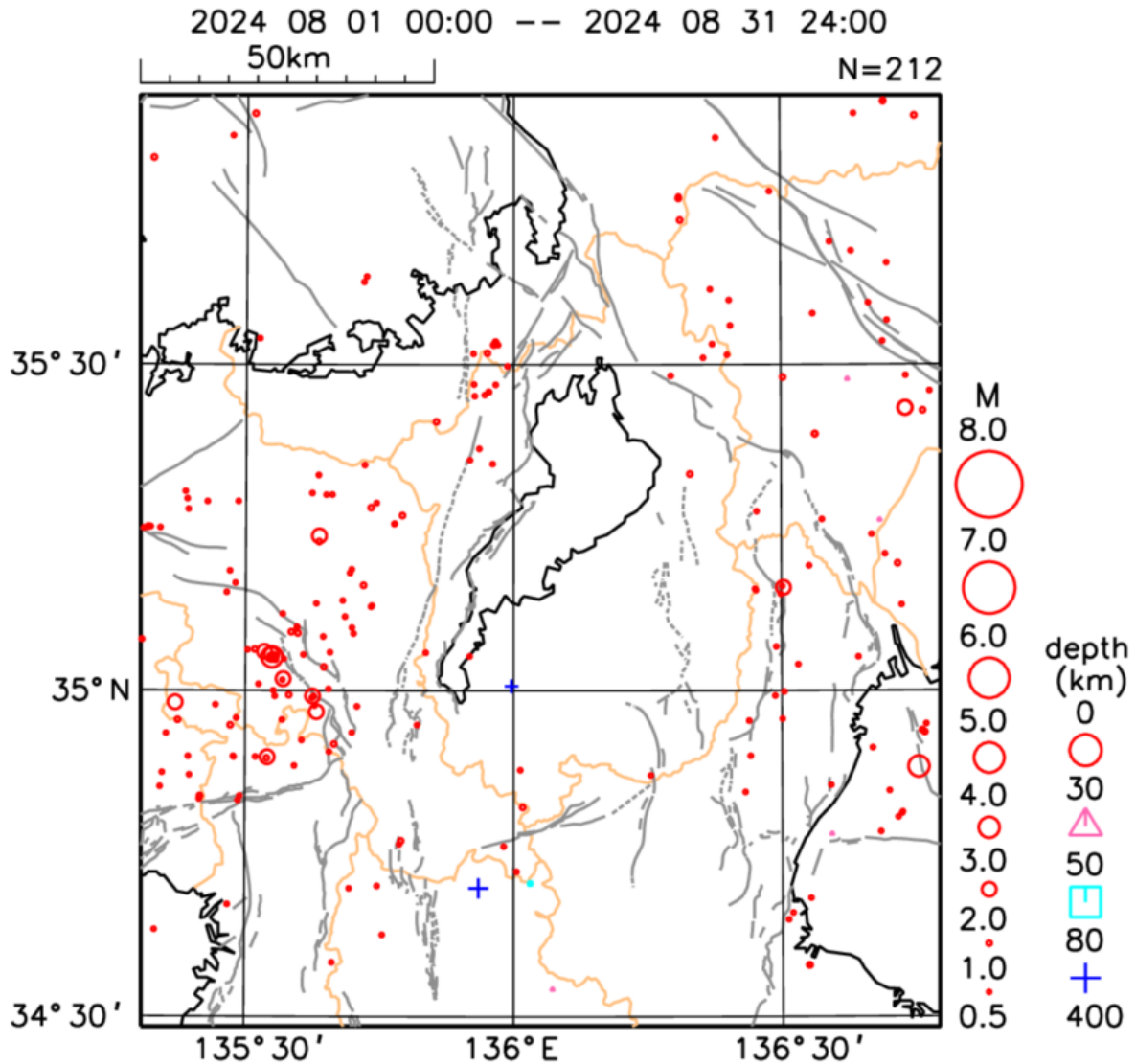
全国の地震火山活動概況、震源要素、震度データは気象庁ホームページに掲載しています。以下のアドレス「地震・津波・火山」からお知りになりたい項目をクリックしてください。

<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menureport.html>

彦根地方気象台

1 滋賀県の地震活動(令和 6 年 8 月)

(1) 震央分布図



(2) 概況

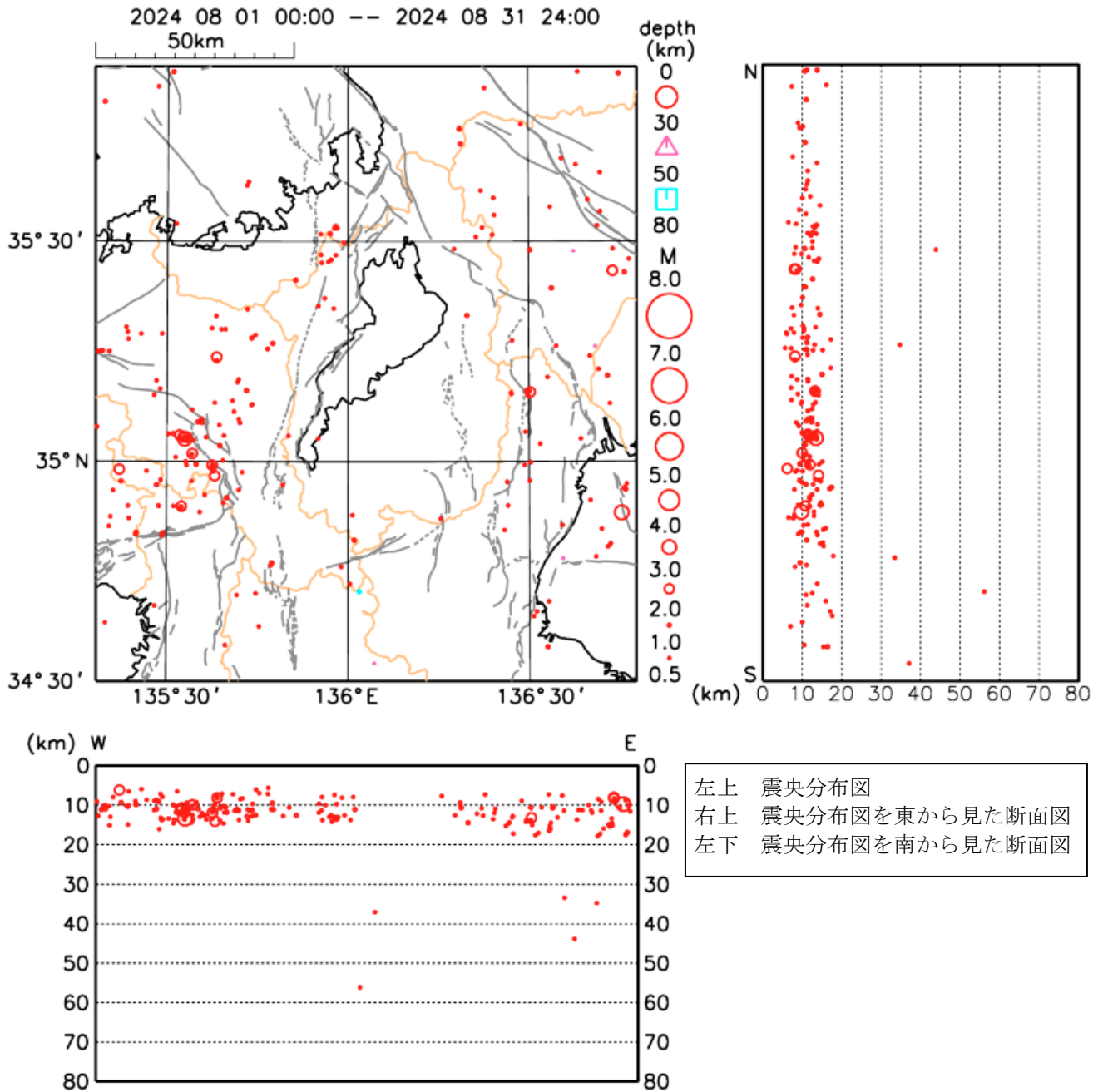
8 月に震央分布図の範囲内における M2.0 以上の地震は 15 回 (前月 8 回) でした。滋賀県内で震度 1 以上の揺れを観測した地震は 2 回でした (前月 0 回)。

滋賀県内で震度 1 以上を観測した地震は、以下の通りです。

8 日 16 時 42 分 日向灘 (図の範囲外) の地震 (M7.1) : 近江八幡市で震度 1

9 日 19 時 57 分 神奈川県西部 (図の範囲外) の地震 (M5.3) : 近江八幡市で震度 1

(3) 断面図(深さ 80km までの地震)



【解説】

深さ数 km～約 20km に分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）、深さ約 30km～約 60km に分布している地震は主として沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

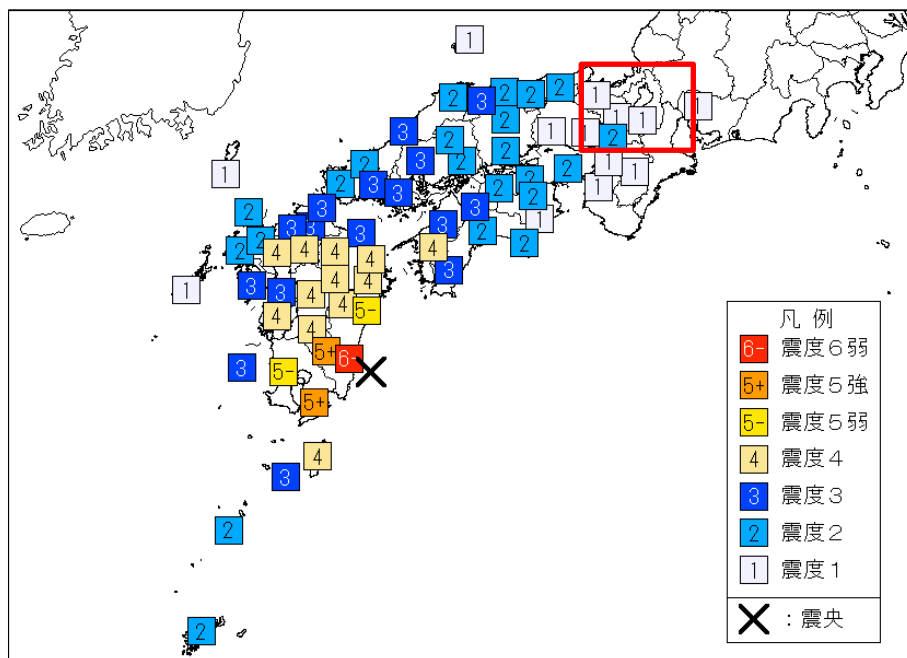
(4) 滋賀県で震度1以上を観測した地震の表

発震日時 各地の震度（滋賀県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2024年08月08日16時42分 ----- 地点震度 ----- 滋賀県 震度 1 : 近江八幡市桜宮町	日向灘	31° 44.2' N	131° 43.3' E	31km	M7.1
2024年08月09日19時57分 ----- 地点震度 ----- 滋賀県 震度 1 : 近江八幡市桜宮町	神奈川県西部	35° 24.6' N	139° 09.6' E	13km	M5.3

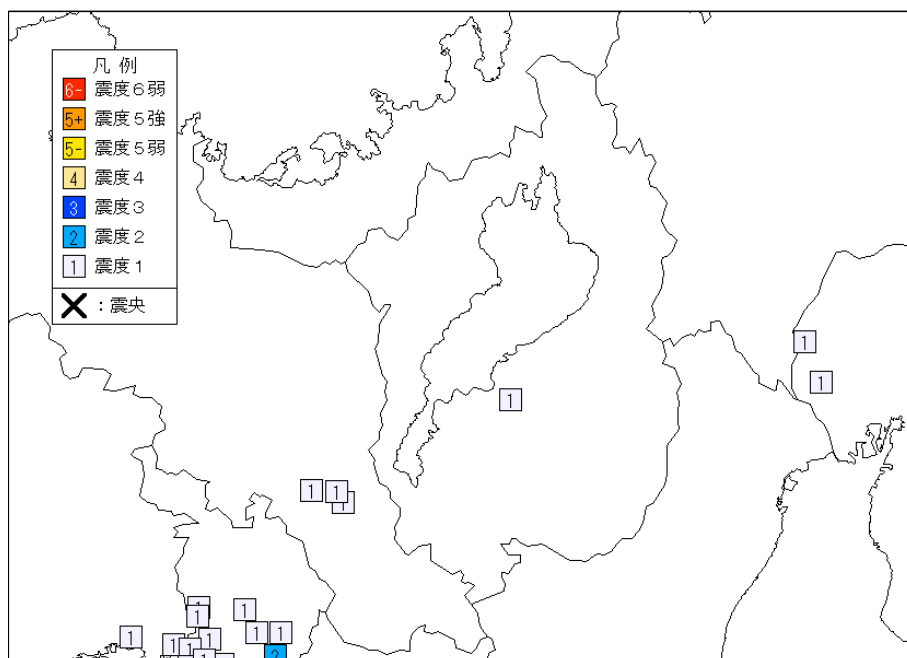
※ 太字の地点は気象庁の震度観測点です。

(5) 滋賀県で震度1以上を観測した地震の震度分布

2024年8月8日16時42分 日向灘 (M7.1)

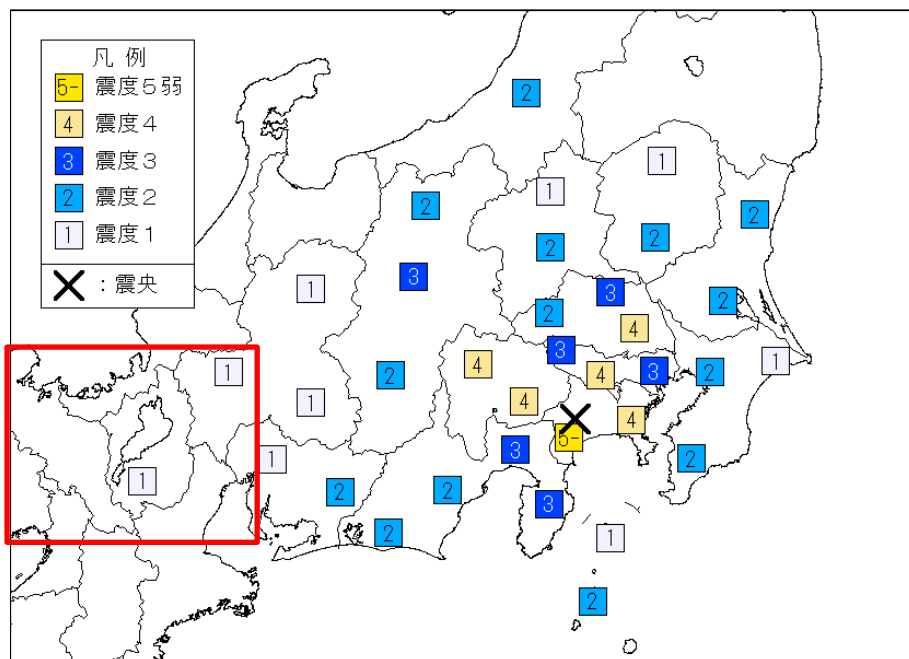


各地域の震度分布図 (×印は震央位置)

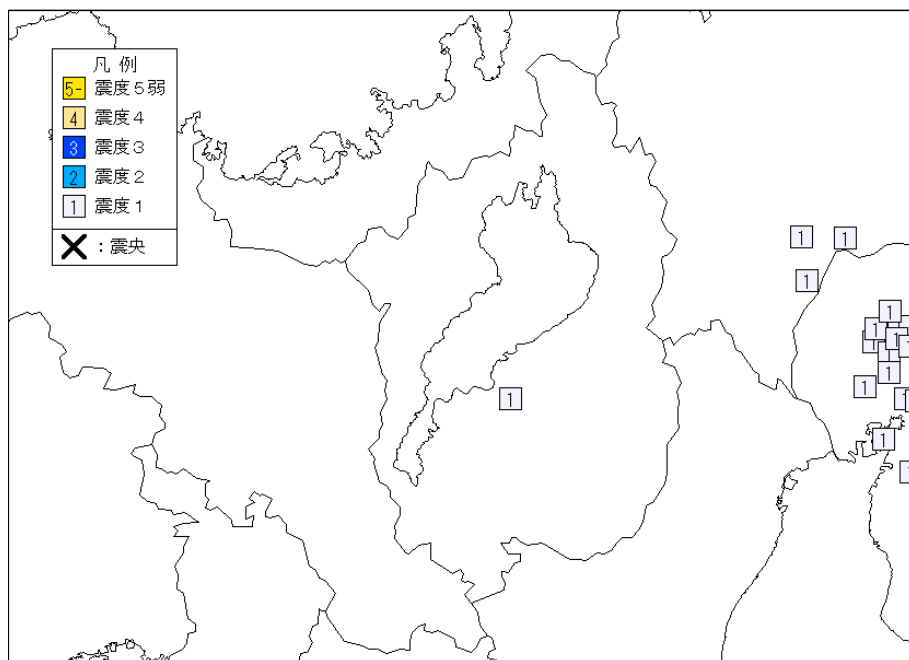


各観測点の震度分布図(各地域の震度分布図中の赤矩形領域内)

2024年8月9日19時57分 神奈川県西部 (M5.3)



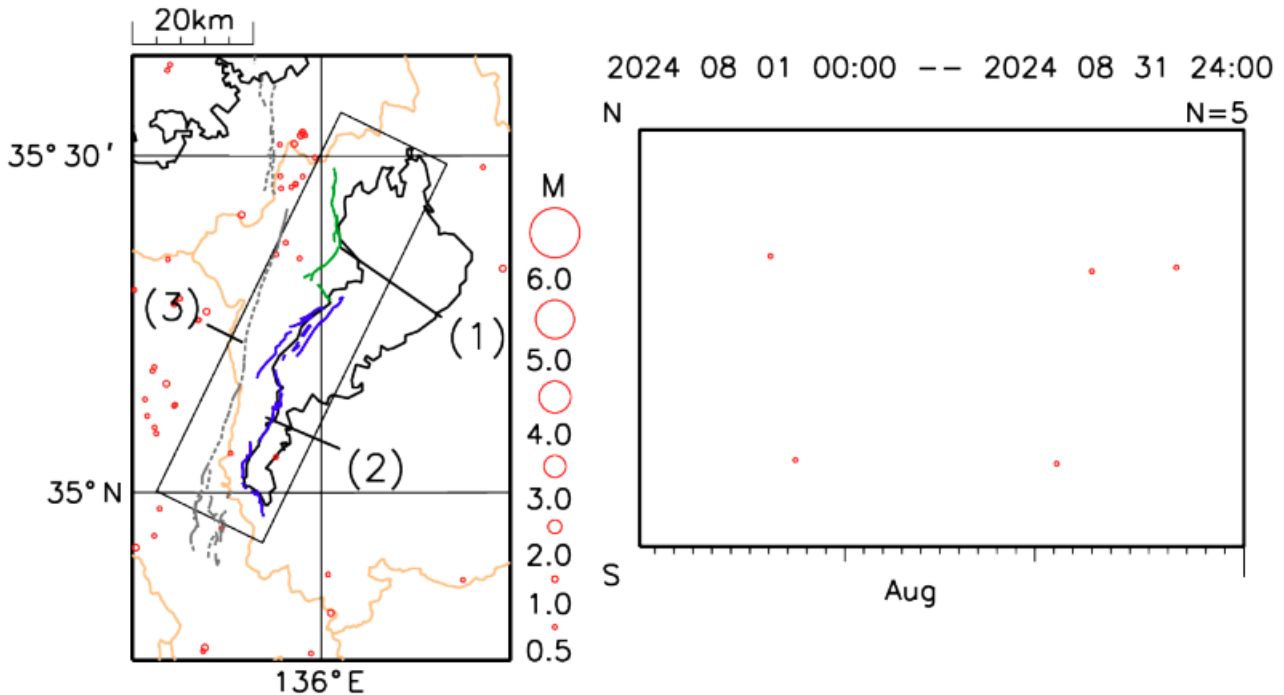
各地域の震度分布図 (×印は震央位置)



各観測点の震度分布図(各地域の震度分布図中の赤矩形領域内)

2 琵琶湖西岸断層帯周辺の地震活動(令和 6 年 8 月)

(1) 震央分布図・時空間分布図・地震活動経過図(深さ 30km までの地震)



(上) 震央分布図

深さ 30km 以浅の地震を表示。断層帯に沿った矩形領域内の地震の活動経過を右に表示。

図中の太線は、断層帯の概略位置。線種は活断層の存在の確実度(実線部>破線部)を表しています。

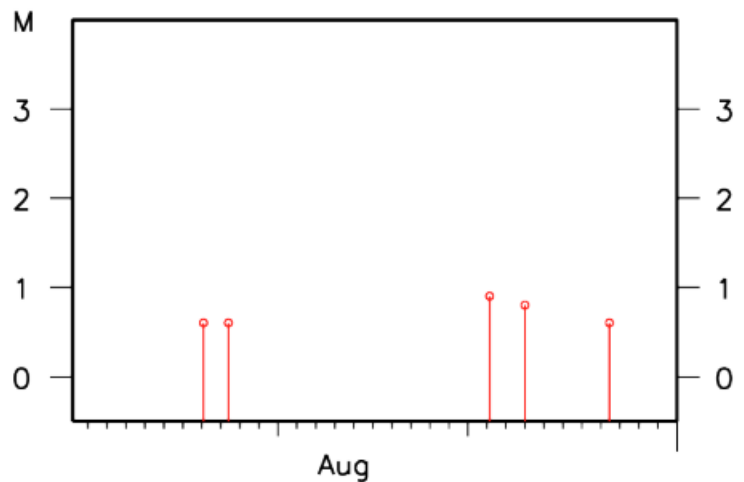
- (1) 琵琶湖西岸断層帯北部
- (2) 琵琶湖西岸断層帯南部
- (3) 三方・花折断層帯

(右上) 時空間分布図

震央分布図の矩形領域内の地震を南北の軸(縦軸)に投影し、横軸に日時をとり、それぞれの地震を表示した図。

(右下) 地震活動経過図(規模別)

震央分布図の矩形領域内の地震について、縦軸にマグニチュード、横軸に日時をとり、それぞれの地震を表示した図。



琵琶湖西岸断層帯について

琵琶湖西岸断層帯は、滋賀県高島市(旧マキノ町)から大津市国分付近に至る断層帯です。全体として長さは約 59km で、北北東-南南西方向に延びており、断層の西側が東側に対して相対的に隆起する逆断層です。

琵琶湖西岸断層帯は、断層帯北部と南部の 2 つの区間に分かれて活動すると推定されますが、全体が 1 つの区間として活動する可能性もあります。

断層帯北部では M7.1 程度の地震が発生すると推定され、今後 30 年以内にそのような地震が発生する確率は 1~3% と推定されます。

断層帯南部では M7.5 程度の地震が発生すると推定され、今後 30 年以内にそのような地震が発生する確率はほぼ 0% と推定されます。

(地震調査研究推進本部の長期評価(2009)による。ただし、地震発生確率の算定基準日は 2024 年 1 月 1 日。)

(2) 概況

8 月に震央分布図中の矩形領域内で観測された M2.0 以上の地震は 0 回(前月 0 回)で、同領域内の地震で震度 1 以上の揺れは観測されませんでした。

3 地震一口メモ

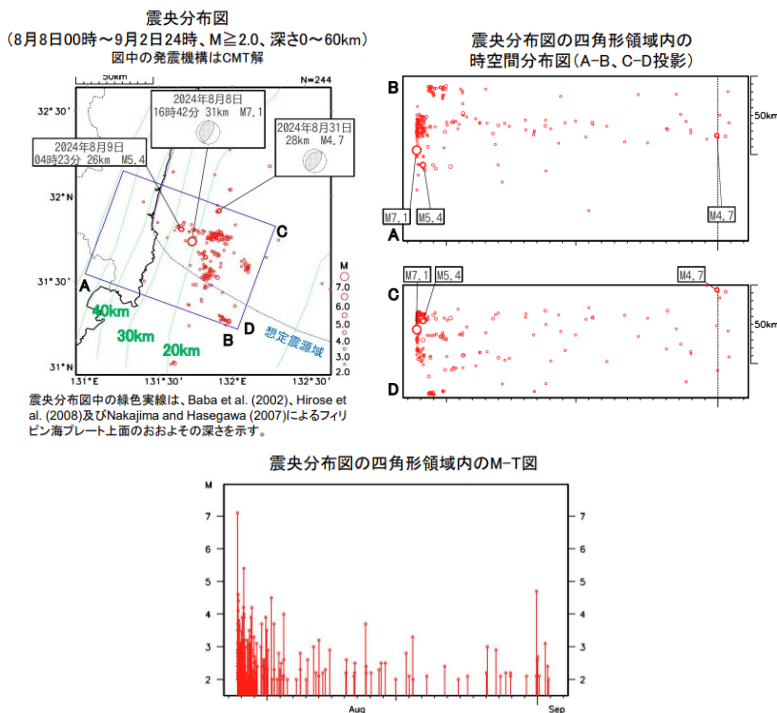
日向灘の地震と南海トラフ地震臨時情報

8月8日16時42分に日向灘で発生したM7.1の地震により、宮崎県日南市で震度6弱を観測したほか、宮崎港（国土交通省港湾局）で51cm（暫定値）の津波も観測しました。この地震はフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生しました。

今回の地震発生を受けて、気象庁は17時00分に南海トラフ地震臨時情報（調査中）を発表しました。その後17時30分から南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会および地震防災対策強化地域判定会を開催し、南海トラフで想定されている大規模地震との関連性について調査を行いました。その結果、南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられたことから、19時15分に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表しました。南海トラフ地震臨時情報は2019年5月から運用を行っていますが、今回はじめての発表になりました。

これを受けて気象庁では南海トラフ領域の地震活動や地殻変動などを注意深く監視していましたが、プレート境界の固着状態に特段の変化を示す活動は観測されませんでした。

このため地震発生から1週間経った15日17時00分に政府としての巨大地震注意の呼びかけは終了しました。8日の地震発生直後に比べると大規模地震の発生可能性は下がってきたものの、南海トラフ沿いの大規模地震が発生する可能性は平常時においても今後30年で70～80%と高い状態なのは変わりません。今回の対応を契機に地震への備えを考えてみてはどうでしょう。



(Yahoo!ニュース制作図解。商用利用不可。図解を分割編集しての使用はできません。)

8月8日以降の日向灘の地震活動状況

気象庁HP 南海トラフ地震関連解説情報(第10号)について

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2409/06a/nt20240906.html>

気象庁HP 南海トラフ地震とは

<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/nteq/nteq.html>

地震調査研究推進本部HP 2024年8月8日 日向灘の地震の評価(9月10日公表)

https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2024/20240808_hyuganada_2.pdf